

パナマ内政・外交（2021年3月定期報告）

【ポイント】

○3月は、ファイザー・ビオンテック社（以下、ファイザー社）のワクチンが毎週パナマに到着した。1月20日から3月31日までに、パナマに到着したワクチン総数は45万7,330ドースにのぼり、29日までに36万4,079ドースのワクチン接種が実施された。

○9日、コルティソ大統領は、政府のワクチン予防接種戦略に従い、ワクチン接種を受けた。

○COVAXファシリティの枠組を通じたアストラゼネカ社ワクチンの調達に関し、3日当地紙は、パナマは3月から5月の間に18万4千ドースの同社のワクチンが配賦される予定であると報じた。また、15日付保健省プレスリリースは、パナマが同社のワクチン接種による副反応の可能性に関する調査結果を待っている状況であるとした上で、同社とのワクチン調達にかかる契約は維持されている旨発表した。

○ロシア製及び中国製ワクチンの調達に関し、27日付当地紙は、保健省のワクチン交渉チームが、3月22の週に中・露の製造業者の代表者らと協議を行ったと報じた。

○29日、保健省は、ブラジル変異種への水際対策として、31日より、南米からパナマへの入国制限措置の強化につき発表した。

○30日、スクレ保健大臣は感染対策措置等が効果を上げていることを踏まえ、4月5日より、全国にて夜間外出禁止時間の短縮等の緩和措置を発表した。

○15日、コルティソ大統領は、Tuttle米臨時代理大使より、米国の新型コロナウイルス対策支援として、4基の移動型医療ユニットの供与を受けた。

○27日、モイネス外務大臣はガジャック西外交長官と会合を行った。

【本文】

●内政

1 新型コロナウイルス関連：ファイザー社ワクチンの到着及びワクチン接種等

（1）ファイザー社ワクチン第4便の到着

ア 3日早朝、大統領府はツイッターにて、ファイザー社の第4便分の新型コロナウイルスワクチン87,550ドースがパナマに到着した旨発表した。

イ 2日の会見において、サンチェス・パナマ産婦人科協会会長は、ワクチン調達の開始直後より、関係者及び専門家等による検討や議論を重ねてきた結果、妊婦は新型コロナウイルスに感染すると重症化するリスクが高い可能性を踏まえ、妊娠期間に関係なく、全ての妊婦のワクチン接種が不可欠であり、これは全国レベルの公的・民間医療機関の双方で実施されるべきであると勧告した。

（2）コルティソ大統領のワクチン接種

9日、コルティソ大統領は、政府のワクチン予防接種戦略に従い、60歳以上

の者を対象としたフェーズ2の接種が開始された地区のパナマ市内の接種会場において、ワクチン接種を受けた。

(3) ファイザー社ワクチン第5便の到着

ア 10日早朝、大統領府はツイッターにおいて、ファイザー社のワクチン第5便となる42,210ドースがパナマに到着した旨発表した。

イ 9日の会見において、スクレ保健大臣は、新型コロナウイルス対応の第一線の医療関係者に対する2回目のワクチン投与は完了している旨述べた。また、同大臣は、「3月9日は、パナマで1人目の新型コロナウイルス感染者が確認されてから1年が経つ。パナマではこの1年で、新型コロナウイルス感染症により、5千人以上の命が失われたが、現在、政府が取り組んでいるワクチン予防接種戦略は、希望を与えるものである。政府は、できるだけ多くの国民への接種を行うことにコミットしている。そのため、ワクチン接種の重要性を自覚し、ワクチン接種会場に出向き、接種を受けた方々に感謝しなければならない。」と述べた。

ウ また、同会見において、エドワルド・オルテガ医師は既に新型コロナウイルス感染症の罹患経験を有する者へのワクチン接種は、1回だけで十分であるとする臨床結果を踏まえ、多くの国民へのワクチン投与を可能にすべく、1回のみとする旨述べた。

(4) ファイザー社ワクチン第6便の到着

ア 17日早朝、コルティソ大統領及び大統領府はツイッターにおいて、ファイザー社のワクチン第6便の63,180ドースがパナマに到着した旨発表した。

イ 16日の保健省記者会見において、スクレ保健大臣は、16日までに26万6,298ドース（人口の6.24%）のワクチン接種が行われており、15日から、第1フェーズ段階1Aにおいて優先されていない医療関係者（公立・民間含む）の2回目のワクチン接種を開始していると述べつつ、現在、政府は障がい者や60歳以上の者を対象としてワクチン接種を実施している旨述べた。

(5) ファイザー社ワクチン第7便の到着

ア 23日夜、コルティソ大統領及び大統領府はツイッターにおいて、ファイザー社のワクチン第7便となる70,200ドースがパナマに到着した旨発表した。

イ 23日の会見において、スクレ保健大臣は、（3月29日の週から始まる）聖週間（Semana Santa）において、同期間中の行列と典礼が中止されるとともに、教会における収容人数の制限を含む感染対策の遵守を求めた他、ビーチ・河岸等における飲酒及び団体での訪問が禁止されている旨、国民に対し改めて強調した。

(6) ファイザー社ワクチン第8便の到着

ア 31日早朝、大統領府はツイッターにおいて、ファイザー社のワクチン第8便となる36,270ドースがパナマに到着した旨発表した。今次ワクチンの到着により、1月20日以降にパナマに到着したワクチン総数は45万7,330ドースとなる。また、予防接種拡大計画(PAI)によれば、29日までに36万4,

079ドースのワクチン接種が行われたと発表した。

イ 30日の会見において、エイラ・ルイス保健衛生担当大臣は、4月5日より、（市民に対する最初にワクチン接種を開始した）首都圏サンミゲリート地区の60歳以上の者への2回目のワクチン接種を開始予定であると述べるとともに、同地区の学校に勤務する教諭や妊婦に対するワクチン接種も行っていく旨述べた。

2 新型コロナウイルス関連：その他のワクチン調達

（1）アストラゼネカ社のワクチン調達

ア 3日当地紙は、EFE通信の情報として、COVAXファシリティの枠組により、3月から5月までに、中南米地域に合計2600万ドース分のアストラゼネカ社のワクチンが供給され、そのうちパナマに18万4千ドースが配賦される予定であると報じた。

イ 15日付保健省プレスリリース第384号において、（安全性への懸念から使用を見合わせる動きが欧州等を中心に広まっている中）スクレ保健大臣は、パナマは、同社のワクチン接種によって引き起こされる副反応の可能性に関する調査結果を待っている状況であると述べた他、COVAXファシリティの枠組みを通じた同社とのワクチン調達にかかる契約は維持されている旨述べたと発表された。

（2）ロシア及び中国のワクチン調達

27日付当地ラ・プレッサ紙によれば、保健省は、同省のワクチン交渉チームが、3月22の週に「スプートニク V（ロシア）」及び「シノバック（中国）」の製造業者の代表者らと会合を行い、ワクチン調達数の詳細について協議を行った。保健省関係者は、現在までのところ、いずれの国ともワクチン調達にかかる署名は行っていない旨述べた。

3 新型コロナウイルス関連：規制措置等

（1）南米からの入国制限措置の強化

（保健省は、ブラジルからパナマに入国したパナマ在住外国人よりブラジル変異種への感染が確認されたことを受け）29日、パナマ政府は同変異種への水際対策として政令第260号を発出し、南米からの入国制限措置の強化につき発表した。

ア 3月31日午前0時01分より、南米から入国者に対し、入国時のPCR検査又は抗原検査を受検に加え、到着48時間以内実施されたPCR検査又は抗原検査による陰性証明の携行を義務付けた。

イ 入国時の検査結果が陰性の場合、自宅又は衛生当局の指定する療養施設で5日間の隔離に加え、5日目に再度抗原検査を行い、その結果が陰性であれば隔離は終了とする。また、入国時の検査結果が陽性の場合、PCRリアルタイム法による検査及び+ICGES法による分類分析検査を受けることとし、保健当局の指定する

療養宿泊施設で14日間の隔離を行う。

(2) 夜間外出禁止時間の短縮等

30日、スクレ保健大臣は記者会見において、全国民のコミットメントと感染対策措置等が効果を上げ、最近5%の陽性率を維持し、死者数も減少していることを踏まえ、4月5日より、全国において、夜間外出禁止時間を午後11時から午前4時まで（従来の開始時間（午後10時）より、1時間短縮）とする緩和措置を発表した他、ビーチ・河岸の滞在時間を午前6時から午後6時まで（従来の滞在終了時間（午後5時）より、1時間延長）とする素子を発表した。ただし、ビーチ・河岸での飲酒及び団体での訪問の禁止は継続される。

4 新型コロナウイルス関連：米国からの移動型医療ユニットの供与

15日、コルティソ大統領は、Stewart Tuttle米臨時代理大使より、米国の新型コロナウイルス対策支援として、4基の移動型医療ユニット（430万米ドル相当）の供与を受けた。米国はパナマに対し、2020年には同種のユニットを4基供与しており、本年中に10基の供与を予定している。なお、1基につき、最低でも40病床が設置可能である。

5 アルファロ前外務次官のトクメン国際空港公社理事長就任

5日、コルティソ大統領はアルファロ前二国間関係担当外務次官をトクメン国際空港公社理事会の理事長に任命した。なお、同役職についていたドゥクレ前大統領府次官は、同5日、1月15日に辞表を提出したギジェルモ・トーレス上下水道庁（IDAAN）長官の後任として、上下水道庁長官に任命された。

●外交

1 モイネス外務大臣とガジャック西外交長官との会談

27日、モイネス外務大臣はクリスティーナ・ガジャック外交長官（Cristina GALLACH）と会合を行い、米州地域の外交状況や両国の戦略的同盟を強化するためのロードマップにつき協議を行った。

（了）